

Z世代に贈るブックリスト

そんなとき、 かたわ 傍らに本を。

2023年3月27日～4月20日

- 一、はじめに
- 一、高校1・2年生に贈る本
- 一、受験生に贈る本
- 一、大学生に贈る本
- 一、20代社会人に贈る本
- 一、小学5・6年生に贈る本
- 一、中学生に贈る本
- 一、大人世代に贈る本

フォーラム情報ライブラリ

はじめに

提案したいのは 読書シーン

Z世代に贈るブックフェアを開催するにあたり、早稲田大学で生涯学習論を学ぶ大学生と企画会議を行いました。



何かと忙しかった高校時代、そして大学入学後の自分を振り返ってみて。後輩たちに提案したい本の読み方（読書シーン）はどんなものだろう？時間がなくても、今読んでほしい本とは？

コロナ下で高校・大学生活を過ごし、その中で視野を広げる経験を重ねた大学生から、同世代そして後輩の皆さんに想いをつなげるブックフェアです。ぜひご覧ください！

中学生の皆さんへ

提案したいのは

「職場体験」

にかかわる読書

男性が1割以下の職業	女性が1割以下の職業
「助産師*」「歯科衛生士」 「保育士」「栄養士」など12種類	「航空機操縦士」「大工」「消防員」 「機械技術者」など63種類

*助産師は法律上、男性は資格を取ることができない。
2015年の国勢調査*による。

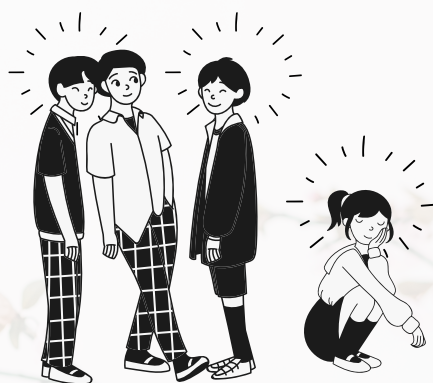
「この職業は女性（男性）」という無意識の
思い込みをもっていないでしょうか。
2015年の国勢調査によると、232種類ある
職業のうち、男性が1割以下、女性が1割以
下の職業は合わせて75種類に上ります。

こうした思い込みは、小さな頃から目にして
きた光景や周りの大人たちからの期待などに
影響を受けて、ひとりひとりの内面に知らず
知らずのうちにつくられたものです。

職場体験の前に、そして終わった後に。
読書で理解を深めてみませんか？

新高1・高2の皆さんへ

提案したいのは 「同世代」の物語



企画会議に参加した大学生からは、
「大学での人との出会いで視野が広がった」
「色々な考え方や人生の歩み方を
目の当たりすることで、
自分は自分でいいと思えるようになった」
といった声が寄せられました。

そんな大学生の先輩たちから
高校1・2年生におすすめの読書シーンは、
高校生や同世代が主人公の物語（小説）
から、多様性を知ること。

多様な同世代を知る読書は、きっと
心のなかのオープンキャンパス。

新高3(受験生)の皆さんへ

提案したいのは 「こころのお守り本」



企画会議に参加した大学生からは、
「受験生の頃は忙しすぎて、
本を読むという発想にならなかった」
「本が好きなので、スマホを見るよりは
いいかと少しずつ読んでいたけど」
といった声が寄せられました。

そんな受験生にお勧めしたいのは、
セルフケアのための読書、
K-POPのスターも取り入れている
といわれています。
こころのケアに役立つ本は、
この図書室が得意とするジャンルです。

受験生の今、この図書館にいる皆さん。
絶好の機会を活用してください。

大学生の皆さんへ 提案したいのは 読書シーンの更新

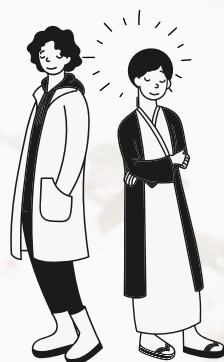


Z世代が本を読まないというのは大きな誤解。
読書好きの同世代に聞いてみました。

- 私は気になった本はスマホの読書アプリに登録します。
サッ（←本のバーコードをスマホで撮影）
- 自宅から大学まで長く電車に乗るので、読書量が急増しました。
- 好きなイラストレーターさんがいて、本の表紙にその方のイラストが使われていると読みます。
- スキマ時間ができたときに好きな本の世界に没入できるよう、お気に入りの文庫本をかばんに入れて持ち歩いています。

20代社会人の皆さんへ

提案したいのは
「自分の読書シーンを
みつけ、彩っていくと
いう楽しみ。」



フォーラムでは、このブックフェアを実施するにあたって、ある20代女性に企画の趣旨を伝え、同世代に向けた読書シーン提案について相談しました。

彼女の意見はこうでした。同世代は、たとえば結婚する/しないといったことを自分で選択するための参考になる情報が欲しいのではないかと。また、その選択がどうであるかにかかわらず、人生の楽しみ方の選択肢を増やすような読書の提案はできないでしょうか、と。

Z世代より大人の皆さんへ

提案したいのは
「意識のアップデート」
をする読書



SDGsなどで注目されるジェンダー平等。
今の時代を生きる子どもたちは、
ごくごく自然に多様性を理解し、
ジェンダーの意識を養う機会に恵まれています。

そんな若い世代に協力してもらいながら、
大人がジェンダー意識をアップデートするのに
役立つ本を選びました。ぜひご覧ください。